



鳥森小学校



学校だより **9月号**

令和7年度

令和7年 9月 1日発行

153-0051

目黒区上目黒 3-37-27

TEL 03-3719-1794

FAX 03-3719-2857

校長 丸山 智子

鳥森小 HP



心ゆたかで思いやりがある子 よく考えて進んで行動する子 からだも心もじょうぶな子

<http://www.meguro.ed.jp/meksmreh/>

食への感覚を磨く ―食育再考―

校長 丸山 智子

44日間の長い夏休みが終わって、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。本日から前期後半がスタートします。これから約4か月間、運動会や音楽会、学年によっては、遠足や社会科見学等、学校行事が密になっている時期に入ります。日頃の頑張りの成果が発揮できるよう、また、学校行事を通してからすみの子どもたちの一体感が生まれることを期待しています。

この夏も猛暑、酷暑が続きました。この暑さで食欲も落ちてしまった子どもたちのいるのではないのでしょうか。あともうひとき、暑さの峠を越えれば、食欲の秋はもうすぐです。夏休み前も厳しい暑さでしたが、子どもたちの食欲は旺盛で、7月は4月当初に比べると残量が随分少なくなりました。大切な食べ物を残さずに感謝の気持ちをもっていただくことが定着してきているように感じます。

食事は1日3回、毎日繰り返される生きるための行為です。これが義務的ではなく、楽しみながら、食事をするすることで、食事の大切さを理解したり、食の知識を得たり、食事のマナーを学んだりできることが小学生の時期には大切なことではないかと思います。

「食育」が教育の世界に導入されて20年近くになります。平成17年に食育基本法が制定されたことがきっかけですが、食育がそれまでなかったわけではありません。家族で食卓を囲み、皆で一緒に食事をとることそのものがまず、食育の第一歩ではないかと思います。家庭での食事の中で、子どもたちは箸の持ち方や使い方、食事のマナーを学んでいきます。季節の行事や特別な日の食事では、伝統的な食文化に触れる機会にもなります。

また、家庭で調理された料理の味は、味覚や嗅覚を育て、大人になっても記憶に残るものと思っています。調理の一部分でも子どもができるお手伝いをするので、直接食材に触れたり、調理方法を知ったりする機会となります。今思えば、私自身も子どもの頃の経験が、大人になってからの食における自立につながっていると感じています。だからこそ小学生の時期の食育はとても大事だと考えています。

本校の栄養教諭に、給食のレシピのリクエストをいただくことがあります。子どもたちの中に美味しかった給食をうちの人と一緒に食べたいという気持ちがあると思います。給食の献立に限らず、みんなで一緒においしく食べたいという子どもたちの願いを、学校と家庭が一緒になってかなえていきたいものです。

食欲の秋とともに実りの秋ももうすぐやってきます。からすみの子どもたちが活躍する秋を迎えられるよう、保護者の皆様、地域の皆様のご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

